



## ご家庭でもご注意を！新疾病「ゲーム障害」！！

6月19日（火）の千葉日報に、『WHO「ゲーム障害」新疾病に』という記事が大きく扱われていました。他の新聞やテレビの報道でも同様に取り扱われていました。副題は「スマホ普及で依存拡大」です。

昨年度、携帯電話について講師を要請し、ミニ集会で講話をいただいたことは記憶に新しいことだと思います。これまで、はっきりとした定義が無かっただけに、「スマホを持つと勉強が」とか、「ゲームをすると他のことが手につかない。」など保護者の方には、いろいろ思うところがあったように思います。

今回『世界保健機関（WHO）は、18日、オンラインゲームやテレビゲームのやり過ぎで日常生活が困難になる「ゲーム障害」を新たな疾病として認定、依存症の一つとして「国際疾病分類」の最新版に加えたと発表した。スマートフォンやタブレット端末の普及に伴い、ゲーム依存が広がり、日本など世界各国で問題化していることが背景にある。』と報道されました。

ゲーム障害は、ゲームをしたい衝動が抑えられなくなり、日常生活よりゲームを優先し、健康を損なうなど問題が起きても続けてしまう特徴があると定義されています。下に定義を載せておきますので、ご家庭でも、ぜひスマートフォンやゲームの約束を再確認していただき、子ども達の健康を守るためにご注意をお願いします。

### ゲーム障害（依存）の定義

臨床的特徴	ゲームをしたい衝動が制御できない
	日常生活などよりゲームを優先
	問題が起きてもゲームを継続
重症度	家族、社会、学業、仕事などに重大な支障
期間	こうした症状が少なくとも12カ月以上続く

（千葉日報 6月19日）

## 梅雨の晴れ間に……。プールが始まりました！

プール開きが行われた後、天候が悪くなかなかプールに入れませんでした。この日は、雨もなく条件が整いプールに入ることができました。



子ども達は、今年度初のプールに大喜び、そして水の冷たさにびっくりしていました。これからどんどん水泳学習の条件が整い、プールが待ち遠しくなることだと思いますが、命を守る、



50mを泳ぎ切った友達への歓声

身を守ることも含めた水泳学習だということを忘れずにこれからも指導していきます。